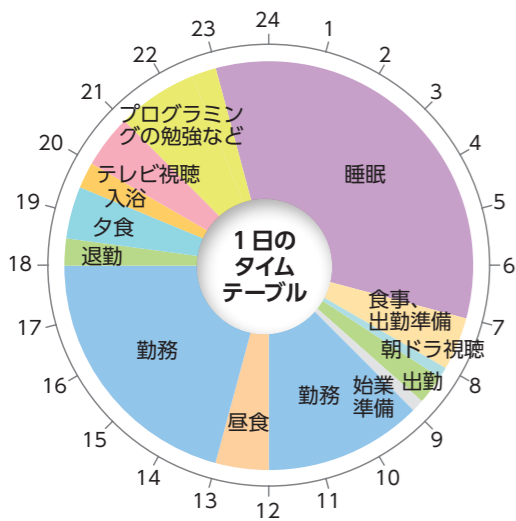


新しい技術とアイデアで課題解決をサポート。



私の楽しみの一つが、近くに住む姪っ子2人と遊ぶことで、温泉や公園などいろいろな所に出かけます。中でもお気に入り、国分の上野原テクノパークにある霧島市こども館です。全天候型の屋内施設だけでなく、屋外にあるツリーハウスなども子どもたちに人気があります。

私のお気に入りには3階の展望デッキ。桜島や錦江湾、霧島連山を一望できて爽快な気分になります。無料で利用できる望遠鏡が設置されており、自分が暮らす街を眺めながら、いろいろな場所や物を探して楽しんでいます。休憩スペースはお弁当なども持ち込めるようなので、景色を眺めながらゆっくりと過ごすのもお勧めですよ。



開館3周年記念イベント

- 日時 = 7月20日(土)・21日(日) 午前9時～午後3時
- 対象 = 未就学児と保護者
- 内容 = スタンプラリー、うちわ作り、バルーンショーなど

※詳細はこども館ホームページを確認ください。



市こども館

- 場所 = 国分上野原テクノパーク2-1
- 開館時間 = 午前9時30分～午後0時30分、午後1時30分～5時
- 休館日 = 火曜(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日
- 駐車場 = 52台

☎市こども館(すかいびあ) ☎(46) 8485

すてきな
スタッフに
囲まれて
働きやすいです。

株式会社divx エンジニア

西園 友加里さん(32)

奄美市出身。第一幼児教育短期大学幼児教育科卒業。令和6年入社。趣味は旅行。国分在住。



最 近よく見聞きする「DX」という言葉。デジタルトランスフォーメーションの略語で、デジタル技術を使って社会や生活の形を変えることを指します。ホームページやスマートフォンアプリの開発など、企業のDX推進を支援する株式会社divxは、令和5年6月、隼人町小浜に霧島ラボ[※]を開設しました。

「農業などの第一次産業や酒造業などの第二次産業にIT技術を取り入れ、DXにつながるための研究開発を行っています」と話すのは、同ラボのチームリーダー・敷田祐一さん(39)です。「自然の恵みが豊かで、都会ではできない面白い仕事ができるのではと期待しています。全国に拠点を開設する目標もあるので、霧島での成果を足掛かりにしたい。地元の企業と一緒にゼロからDXのビジネスモデルを作り上げ、同時に地元のIT人材の育成などにも貢献できれば」と敷田さんは力を込めます。同社はリモートワークが基本のため出社は週3日程度。男性社員の育児休暇取得率は100%で、東京都の「TOKYOパパ育児促進企業」のゴールド企業に認定されるなど、働きやすい環境が整っています。

※ラボラトリーの略語。研究所、実験室。



ワーク vol.74

霧島市にはたくさんの企業があり、そこで多くの若者が生き生きと働いています。

このコーナーでは、そんな企業や若者の暮らしを紹介します。

第74回は、株式会社divxの西園友加里さん(32)です。

就職を控える生徒や学生の皆さん、ぜひ霧島市で働き・暮らすという未来を描いてみませんか。

取材協力企業

株式会社divx

隼人町小浜28 Obama Village ☎090(3139)8404【敷田】
<https://www.divx.co.jp/>

代表者: 物部 英嗣
 創業: 令和3年
 資本金: 2,000万円
 初任給: 25万円～
 平均年齢: 32歳
 月平均残業時間: 12.5時間

採用実績(新卒/中途): 16人(11人/5人、令和6年度)
 従業員数(男/女): 123人(80人/43人)
 有給休暇の平均取得日数: 9.6日/年
 育児休業取得者数(男/女): 3人(3人/0人、令和3年度)
 勤務時間: 午前9時～午後6時(年間休日120日以上)



市ホームページで、このコーナーのバックナンバーをご覧ください。